

日本のユネスコ加盟 75 周年記念フォーラム

松本文部科学大臣 挨拶

御紹介いただきました、文部科学大臣の松本洋平です。

本日は、日本のユネスコ加盟 75 周年記念フォーラムを開催できますことを、大変嬉しく思います。御多忙の中ご参加いただいた皆様、そして会場を御提供いただいた国連大学のマルワラ学長に、心より御礼申し上げます。

また、エルアナーニー事務局長の御訪日と本フォーラムへの御参加を心より歓迎いたします。「人の心の中に平和のとりでを築く」というユネスコの理念は、国際情勢が厳しさを増す今こそ、その重要性を一層高めています。日本は、貴事務局長の下で進められるユネスコの活動を引き続き力強く支えてまいります。

日本は 1951 年の加盟以来、教育、科学、文化の各分野でユネスコに積極的に貢献してきました。1999 年から 2009 年には本日も御臨席の松浦晃一郎氏が事務局長を務められています。2003 年には常駐代表部を開設しました。

教育では ESD の推進、科学では津波防災をはじめとする海洋科学や水災害対策、文化では世界遺産や無形文化遺産の保護、世界の記憶改革において、ユネスコにおける活動に積極的に参画しています。つくば市と堺市にあるカテゴリ 2 センターは、水災害対策と無形文化遺産研究で、それぞれ国際協力の拠点となっています。

こうした活動を支えているのは、日本国内の幅広いユネスコ活動です。世界初の民間ユネスコ協会が 1946 年に仙台で設立されて以来、現在では全国約 3,000 の団体が活動しています。また、世界遺産、世界ジオパーク・エコパーク、創造都市、ユネスコスクールなど、多くのユネスコ関連の取組が全国各地で展開されています。日頃より御尽力いただいている皆様に、深く敬意を表します。

本日のフォーラムでは、日本のユネスコへの貢献と国内での活動について、各分野の第一人者の皆様に御紹介いただきます。また、75 周年を記念して制作した動画に出演いただきました女優の松下奈緒さんにも、ユネスコの理念への思いを語っていただきます。

本日のフォーラムが、日本のユネスコへの更なる貢献と、国内のユネスコ活動の一層の発展につながることを祈念し、私の挨拶といたします。ありがとうございました。